



県政報告 県政を身近に

令和3年
2021
夏季号

Vol.40

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ご挨拶〉

先の6月定例県議会において、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止対策などの補正予算が可決されました。ワクチン接種が進んでいますが、接種が行き渡るまでには時間を要し、予断を許さない状況にあります。議会としては、引き続き県に対して適切な対応を促してまいります。

台風シーズンが到来しています。近年は気候変動により台風の大型化や集中豪雨による風水害被害が毎年起こっています。今年1月から県が新たに越辺川2か所にライブカメラを設置しました。皆様には、ぜひこうした情報を活用し、災害の危険が迫っている時に適切な避難対応を取ってください。

「埼玉県が管理する県道の構造等の基準を定める条例」の一部改正

社会情勢の変化に対応するため、国の道路構造令等の改正を受け令和24年に策定された県条例が初めて改訂されました。

①賑わいのある道路空間（例：屋外での飲食スペース等）をつくるため、「歩行者利便増進道路」の指定制度を創設。



利便増進誘導区域

②自動運転を補助する磁気マーカーなどの施設を道路付属物に位置付ける。



③バス・タクシーなどの停留施設を道路付属物に位置付け、バリアフリー基準が適用されるようにする。

令和3年6月定例県議会（令和3年6月19日～7月2日）

〈当初補正予算〉121億498万円

まん延防止等重点措置等により経営に影響を受けている県内事業者の支援及び感染拡大防止対策の実施に要する経費を中心に計上。

感染拡大の影響を受けている事業者への支援……70億2,677万円

- 飲食店の営業時間短縮や外出自粛等による影響を受けた事業者に対し協力支援金を給付
中小法人等：月5万円
個人事業者等：月2万5千円（4月～6月）
- 酒類の提供自粛等による影響を受けた酒類販売事業者等への支援
- 宿泊事業者が感染症対策に資する物品を購入した場合、経費の2分の1を補助
- 県公式観光サイト「ちよこたび埼玉」を活用して県産品製造事業者を支援
- 感染防止対策を実施した地域公共交通事業者を支援

高齢者・障害者入所施設及び通所施設の職員に対するPCR検査の実施……45億円

- 入所施設職員に対する検査の継続と通所施設職員に対する検査を実施します。

その他……5億7,170万円

- 保護者が負担する修学旅行キャンセル料への補助
- 生活困窮者の自立に向けた支援体制等の強化 など

〈まん延防止等重点措置期間〉の延長に伴う追加補正予算

488億8,112万円

6月20日までのまん延防止等重点措置の期間を7月11日まで延長することが決まったことから、飲食店等に対する協力金の支給やワクチン接種の促進を図ることなどに必要な経費を計上。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止……281億8,202万円

- 飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給
- 大規模施設（1,000㎡超）等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給
- 彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）等に係る現地確認

新型コロナウイルスワクチン接種体制の強化……104億5,421万円

- 個別接種促進に向けた医療機関への支援
- 市町村の接種体制を補完する県集団接種会場の追加設置・運営
浦和区における県集団接種会場に加え、3か所の会場を川越市、越谷市、熊谷市に新たに設置し4か所体制としました。

生活に困っている人々への支援

……102億4,486万円

- 生活福祉資金特例貸付の受付期間延長に伴う助成
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給

新型コロナ対策の補正予算累計額が2,680億円

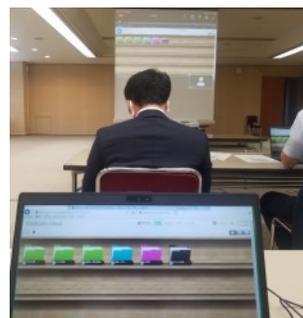
7月9日の臨時県議会までに、当初予算2兆1,198億円が約2兆3,878億円に増え、令和3年4月以降、新型コロナ対策に充てられた予算の累計が約2,680億円となりました。〔臨時県議会の開催状況〕は裏面に記載。

県議会のペーパーレス化

県議会では、議会改革の一環として議案をはじめ本会議等で配布される資料を、紙の印刷物から電子化することに取り組んでいます。山のように積まれていた議案書等が机の上から姿を消し、パソコン上で見るようになります。全議員が電子化に乗り遅れないように頑張っています。



▲議会毎に配布される大量の紙文書



▲ペーパーレス研修の様子

人材育成・文化・スポーツ振興 特別委員会

今議会の委員会では、小中高における確かな学力の育成に向けた取組と特別支援教育の推進について審議しました。



▲本会議で委員会の報告をする武内県議



風水害に警戒を!

台風や集中豪雨等による災害が発生しやすい季節となりました。普段から災害に対する備えを心がけるとともに、災害の危険が迫った時の対応も知っておきましょう。

警戒レベル4 = 避難指示で必ず避難

《5月20日から避難情報の発令が変わりました》

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1 さんきゅうあんぜんかくほ	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	避難指示※2 ひなんしじ	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者等避難※3 こうれいしゃとうひなん	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

県の「川の防災情報」を活用してください。

「県の川の防災情報」のホームページで、河川の水位などの状況がリアルタイムでわかります。また、知りたい河川の場所を登録しておく、基準の水位を超えたり土砂災害警戒情報が発令されるとメールが自動配信されます。越辺川の梅園橋(越生町堂山)及び今川橋(鳩山町赤沼)の2か所のライブカメラからの映像が見られます。

異例の臨時県議会開催～4月から7月までに6回～

◆4月1日(議案:地方独立行政法人 埼玉県立病院機構の設立に伴う中期計画の承認の審議)

平成3年4月1日から地方独立行政法人埼玉県立病院機構が設立され、県立4病院(循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センター、精神医療センター)を運営することとなりました。機構の中期計画の認可に当たり議決を求められ、計画を承認しました。

◆4月19日(議案:4月20日～5月11日のまん延防止等重点措置の指定に伴う補正予算)

国が4月20日から5月11日まで、本県をまん延防止等重点措置実施地域に指定したため、県では、さいたま市及び川口市を措置区域としてまん延防止等重点措置を講じることとしました。これに伴い、飲食店等への営業時間短縮要請に伴うさらなる協力金の支給など当面緊急に対応を要する経費として、385億5,340万円の補正予算が承認されました。

◆4月27日(議案:まん延防止等重点措置の追加地区指定に伴う補正予算)

東京都が緊急事態措置区域に近い県南部を中心とした13市町を4月28日から5月11日まで、まん延防止等重点措置を実施すべき区域に追加し、さいたま市、川口市も含めた計15市町の飲食店等に対して酒類の提供自粛を要請するとともに、その他の地域についても同様の要請をしました。

臨時議会においては、新たにまん延防止等重点措置を実施すべき区域となる13市町の飲食店

等へ協力金を支給する経費として24億6,903万円の補正予算が承認されました。

◆5月11日(議案:5月12日～31日の重点措置延長に伴う補正予算)

5月12日から5月31日まで重点措置の実施期間を延長することが決まったため、引き続き飲食店等に営業時間の短縮や酒類の提供自粛を要請するとともに、新たに措置区域の大規模な集客施設等に対し要請し、協力金を支給することとしました。また、ワクチン接種会場の医師、看護師の確保支援と新たに県が集団接種会場を設置する経費として272億332万円の補正予算が承認されました。

◆5月31日(議案:6月1日～6月20日の重点措置延長に伴う補正予算)

5月31日までのまん延防止等重点措置を6月20日まで延長することに決定し、引き続き飲食店や大規模施設等に対し、営業時間の短縮や酒類の提供自粛を要請し協力金を支給することとしました。また、入院病床を増床するとともに、宿泊療養施設の確保するための経費として509億2,571万円の補正予算が承認されました。

◆7月9日(議案:7月12日～8月22日の重点措置延長に伴う補正予算)

6月21日から7月11日までのまん延防止等重点措置を8月22日まで延長することに伴い、飲食店等に対する協力金の支給とワクチン接種を行う医療機関への支援を継続して実施するとともに、職域接種への支援をする経費として683億6,781万5千円の補正予算が承認されました。

武内まさふみの活動日誌

■環境科学国際センター 視察 (5月19日)

当センター(加須市)は環境問題についての学習、試験研究、国際貢献、情報発信の4つの機能を持った県の施設で、5月で設立20周年を迎えました。

当日は、センター長から説明を受けた後、はじめに太陽光パネルリサイクルの実験施設を見学しました。パネルごとに構造、サイズ、金属などの含有量がバラバラなの



▲太陽光パネルのリサイクルの説明

で、リサイクルするための分離や破碎の難しさがわかりました。

その後、環境学習の展示館「彩(さい)かんかん」の見学後、試験研究の一つであるクビアカツヤカミキリ被害防止の取組と本県の大気観測の変遷の説明を受けました。



▲環境学習展示館「彩かんかん」

県レベルで最も多い「科学研究費」を国から得ているセンターには、更なる試験研究機能の充実を

図り、様々な分野の環境問題の解決に向けて貢献してほしいと思います。

■県高齢者ワクチン接種センター 視察 (6月9日)

埼玉県が設置した「高齢者ワクチン接種センター」(浦和区合同庁舎内)を視察しました。各所に職員が立ち案内をしており、予約者は整然とした状態で接種を受けていました。

8月からは浦和合同庁舎ワクチ

ン接種センターに加え、新たに川越市・熊谷市・越谷市に大規模接種会場を3か所設置します。



▲高齢者ワクチン接種センター(浦和区)

《令和3年9月定例会で武内県議が一般質問》

9月定例会県議会が9月24日から10月14日まで開催される予定です。9月30日10時に質問者のトップバッターとして武内県議が登壇します。

今回は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、バスによる

傍聴ツアーは実施しません。質疑の様子をご覧になりたい方は、当日県議会ホームページで、ライブ中継をごらんください。

議会閉会日以降、テレビ埼玉の「県議会だより」の番組の中でも放映されます。